

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度								
事務事業名	交通安全対策事業（政策）						事業類型	施設等整備	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	かすみがうら市事業型助成補助金等 交付要綱
			02	01	08	03	政策経費		
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 安全な住環境の推進						市民協働	共催	
	3 交通安全・防犯						担当課係等	生活環境課	
⑥防犯設備の拡充						交通安全・防犯担当			
事業期間	継続（平成27年度～）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 住民一人ひとりの交通安全意識の向上を図り、安全で安心できる交通社会の確立に寄与する。 地域要望の交通安全施設の新設。 防犯灯のLED化。	【関連事業】 なし
【期待される効果】 交通事故防止。 LED化による環境負荷の軽減及び維持管理費用の削減。	【対象者】 市民
【全体概要】 各種機関や団体と連携し、効果的な街頭活動を主体的に展開する。 防犯灯、カーブミラー、ガードレール等の新設。 防犯灯の設置補助事業。	【特記事項】 なし
【平成29年度 事業内容】 交通安全施設の新設 各種団体への補助金 防犯灯の設置補助事業	【平成30年度 事業内容】 交通安全施設の新設 各種団体への補助金 防犯灯の設置補助事業
【令和元年度 事業内容】 交通安全施設の新設 各種団体への補助金 防犯灯の設置補助事業	

■ 事業費

		H29年度	H30年度	R01年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	17,544	17,561	18,190
歳入計（千円）		17,544	17,561	18,190
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	13 委託料	13,971	13,971	14,317
	15 工事請負費	2,464	2,577	2,653
	19 負担金、補助及び交付金	1,109	1,013	1,220
歳出計（千円）（A）		17,544	17,561	18,190
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 3.58 予 -0.81
職員人工数		0.50	0.45	0.45
職員人件費（B）		3,852	3,383	3,557
総事業費（A）＋（B）		21,396	20,944	21,747

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	交通安全街頭活動	回/年	目標	5.00	5.00	5.00
	各種機関や団体と連携し、実施した街頭キャンペーン数		実績	5.00	5.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	市内交通死亡事故発生件数	件/年	目標	0.00	0.00	0.00
	市内で発生した交通死亡事故の発生件数		実績	1.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 交通安全対策の充実については、第2次総合計画に位置付けられている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 交通安全対策の一環として啓発活動を実施し市民に対して意識の高揚を図る。交通危険個所解消のためカーブミラーの設置や犯罪抑止効果のある防犯灯設置補助事業を継続する必要がある。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 高齢者等の交通弱者に対する更なる啓発活動や安全な通学路確保のための環境整備が必要。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民の安心安全を確保するため必須。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 道路課や学校教育課等の関係部署と連携を図り交通安全施設の整備を進める。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 既存防犯灯LED化事業が完了し、将来的なランニングコストが一定化することから、大幅な事業費の削減は見込めない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民一人ひとりの交通安全意識の向上を図り、安心安全な交通社会の確立に寄与する。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	交通安全を推進するため、交通関係団体及び警察署等と連携し、活発な啓発活動の展開や交通安全施設の整備に努める。またLED化事業により防犯灯の長寿命化が図られ、ランニングコストも大幅に削減されることからLED防犯灯設置補助については、設置コストと補助額のバランスに配慮しながら継続的に推進する。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 廣原正則
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 交通安全を推進する関係団体や警察署等と連携し、活発な交通安全の展開や交通安全施設の充実に努める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 山内美則
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 警察署や交通安全団体との連携・協力により、交通安全意識の高揚及び啓発活動を推進する。また、通学路の合同点検を踏まえた交通規制等を含め、効果的な施策を検討する必要がある。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度								
事務事業名	地域安全対策事業（政策）						事業類型	委員会・審議会等	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	空家等対策の推進に関する特別措置法
			02	01	09	03	政策経費		
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 安全な住環境の推進						市民協働	市民の関与	
	2 防災						担当課係等	生活環境課	
①防災対策・体制の充実								交通安全・防犯担当	
事業期間	継続（平成29年度～）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 適正な管理が行われていない空家等が、防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしていることに鑑み、地域住民の生命、身体、財産の保護、空家の利活用を促進するとともに、総合的かつ計画的に実施し、市民の生活環境の保全を図る。	【関連事業】 定住促進 二地域居住促進
【期待される効果】 管理不十分な空き家対策の強化を進め、犯罪の未然防止に努めるとともに、居住環境の整備により移住・定住の促進に寄与する。	【対象者】 市民
【全体概要】 効果的かつ効率的な空家等対策を実施するため、庁内関係部局及び関係機関等との整備体制を進める。 特定空家に対する事前措置としての立入調査 実態調査及びデータベースの整備 対策計画の策定 協議会の設置及び運営	【特記事項】 なし
【平成29年度 事業内容】 空家調査委託（H28繰越） 協議会の設置・運営 空き家バンク 防犯カメラ設置	【平成30年度 事業内容】 空家等対策計画の策定準備・検討 協議会の運営 空き家バンク 防犯カメラ設置
【令和元年度 事業内容】 空家等対策計画の策定 協議会の設置・運営 空き家バンク 防犯カメラ設置	

■ 事業費

		H29年度	H30年度	R01年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	9,659	5,267	3,323
歳入計（千円）		9,659	5,267	3,323
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	36	43	114
	11 需用費	13	0	229
	12 役務費	0	0	33
	13 委託料	6,113	0	0
	14 使用料及び賃借料	95	95	97
	18 備品購入費	3,402	5,129	2,850
歳出計（千円）（A）		9,659	5,267	3,323
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 -36.9 予 -10.3
職員人工数		0.30	0.60	0.60
職員人件費（B）		2,311	4,511	4,742
総事業費（A）＋（B）		11,970	9,778	8,065

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	空家等対策に関する会議開催数	回/年	目標	1.00	1.00	2.00
	空家等対策協議会の開催数		実績	1.00	1.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	空き家バンクの物件登録件数	件/年	目標	10.00	10.00	5.00
			実績	1.00	2.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 住居環境の充実及び空家の防犯対策については、第2次総合計画に位置付けられている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 空き家は核家族化に伴い地方は高齢者の持家世帯が増加傾向にあるため、今後空き家の自然増を避けるのは困難な状況である。公道や隣接地への影響を踏まえ対策が急務である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 空家等対策の推進に係る特別措置法の規定による計画の策定や、国の今後の動向に注視し、対策を進める必要がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 樹木の繁茂や家屋倒壊等により、公道や隣接地への影響が懸念され、また、犯罪や火災等を引き起こす原因となる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 都市計画マスタープランの改定及び立地適正化計画の策定にあたっての連携のほか、関連事業を所管する部署との連携。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 問題直面最中により現時点では不可能であるが、今後計画が策定され本市の方針が明確になった場合は一部見直しも可能である。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 全国的に地方自治体が抱える問題であり、今後も国の動向を踏まえつつ地道に足を運ぶ必要がある。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	空家等対策協議会の意見や、アンケート調査の結果、また、市の現状を踏まえて「空家等対策計画」を策定する。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：廣原正則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 空家等対策協議会委員と連携を図りながら、本市の実情に合った「空家等対策計画」を策定する。 また、市民生活の安全に資することを目的とした防犯カメラ等の設置に努める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：山内美則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 空家等対策協議会委員や近隣自治体と情報交換を図りながら、将来を見据えた空家等対策計画を策定する。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度								
事務事業名	百里基地周辺対策事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律
			02	01	14	07			
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 自然環境の保全と活用						市民協働	市民の関与	
	1 環境保全・公害						担当課係等	生活環境課	
④公害の防止						環境対策担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 自衛隊の特定の行為により生ずる損失を補償することにより、関係住民の安定及び福祉の向上に寄与する。	【関連事業】 公害防止対策事業（政策）
【期待される効果】 区域内住宅の騒音を軽減する。	【対象者】 防衛省騒音補助対象区域内の新入住民。
【全体概要】 百里飛行場航空機騒音対策事業等に関すること。	【特記事項】 特になし。
【平成29年度 事業内容】 区域内住宅の騒音を軽減するため、必要な工事を行うとき、その工事に対し補助をする。	【平成30年度 事業内容】 区域内住宅の騒音を軽減するため、必要な工事を行うとき、その工事に対し補助をする。
【令和元年度 事業内容】 区域内住宅の騒音を軽減するため、必要な工事を行うとき、その工事に対し補助をする。	

■ 事業費

		H29年度	H30年度	R01年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	50	0	50
	自主財源	-50	0	50
歳入計（千円）		0	0	100
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	0	0	100
歳出計（千円）（A）		0	0	100
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆増 予 0.00
職員人工数		0.08	0.08	0.08
職員人件費（B）		617	602	633
総事業費（A）＋（B）		617	602	733

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	要望等に関する打合せ	回	目標	1.00	1.00	1.00
	周辺自治体との調整		実績	1.00	1.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	補助件数	件	目標	1.00	1.00	1.00
	百里飛行場航空機騒音対策戸数		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 騒音対策は市民の福祉向上の観点から必要
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 特定の地域の騒音を伴う不快な環境を軽減し過ごしやすい生活を保障することとして計上しているが、要望がないことから見直す余地がある
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地域限定で国の告示日 (H1. 6. 30) 以降の新居住民を補助対象で、かつ零細補助であるため効果が表れにくく、事業内容の見直しも考えられるが、県補助事業のため見直しが難しい
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民への直接的な影響を与えるため、廃止休止は難しい
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 騒音対策工事等の実績に基づく事業に要する予算項目の一時保管分であるため削減余地がない
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助対象地域は指定地域であるため

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者: 廣原正則
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 防衛施設周辺住民の生活環境の整備のため継続する		
2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性 (改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)		記入者: 山内美則
担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) 周辺住民の環境保全のため継続する		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度							
事務事業名	環境美化事業（政策）						事業類型	業務委託
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	環境美化に関する条例
			04	01	06	03	政策経費	
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむまちづくり						総合計画対象	対象
	(1) 自然環境の保全と活用						市民協働	市民主体
	1 環境保全・公害						担当課係等	生活環境課
②環境美化の推進						衛生担当		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 市内道路周辺の清掃や、環境美化運動を推進し、快適な生活環境づくりに寄与する。	【関連事業】 環境美化事業
【期待される効果】 ごみの不法投棄を無くすことにより、かすみがうら市を快適で住みやすい環境にする。	【対象者】 市民全体
【全体概要】 かすみがうら市全域において、市民参加のボランティア活動による周辺道路の一斉清掃（5月・8月・3月）を行い、快適な生活環境づくりに努める。	【特記事項】
【平成29年度 事業内容】 フラワーロード及び市内花壇の管理。5月・8月・3月に空き缶等の一斉清掃実施。	【平成30年度 事業内容】 5月 関東地方環境美化運動 8及び3月 霞ヶ浦北浦清掃大作戦
	【令和元年度 事業内容】 5月 関東地方環境美化運動 8及び3月 霞ヶ浦北浦清掃大作戦

■ 事業費

		H29年度	H30年度	R01年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	4,676	1,527	1,674
	歳入計（千円）	4,676	1,527	1,674
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	363	231	234
	12 役務費	60	60	60
	13 委託料	1,653	1,236	1,380
	19 負担金、補助及び交付金	2,600	0	0
歳出計（千円）（A）	4,676	1,527	1,674	
（参考）	当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 9.62 予 5.28	
職員人工数	0.54	0.65	0.65	
職員人件費（B）	4,160	4,886	5,137	
総事業費（A）＋（B）	8,836	6,413	6,811	

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	広報回数	回	目標	3.00	2.00	3.00
	広報誌やホームページによる啓発		実績	3.00	3.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	清掃参加者数	人	目標	20,000.00	20,000.00	20,000.00
	参加人数		実績	19,961.00	20,338.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民がつくる自然環境の保全と活用及び快適な住環境づくり
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 環境美化に対する意識の高揚と犯罪の抑制を期待できることから市民協働まちづくりには必要不可欠
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地域自主活動やボランティア活動の奨励、子ども達への環境教育など持続的な社会の創造
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 環境美化の関心が薄れることで住民生活や環境の悪化を招く
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 市民の積極的な地域自主活動やボランティア活動の奨励
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内一斉であり公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：廣原正則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦など一斉清掃は、市民との連携が取れ定着していることから信頼関係を保ち継続実施すること		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：山内美則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 一斉清掃について継続することにより、市民の環境美化や不法投棄防止の意識醸成に努めること。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度								
事務事業名	公害防止対策事業（政策）						事業類型	業務委託	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	公害防止条例等
			04	01	06	05	政策経費		
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 自然環境の保全と活用						市民協働	行政主体	
	1 環境保全・公害						担当課係等	生活環境課	
	④公害の防止							環境対策担当	
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 市内の環境を継続的に監視し、快適な生活環境づくりに寄与すると共に環境保全の向上を図る。	【関連事業】 公害防止対策事業
【期待される効果】 かすみがうら市を公害のない住みやすい街にする。	【対象者】 市内全域
【全体概要】 市内の河川水質、地下水、工場・事業場排水、ゴルフ場内からの排水（農薬）、土壌の現状を調査し、環境基準の達成状況を把握する。	【特記事項】 特になし。
【平成29年度 事業内容】 河川水質（10河川16箇所）、地下水（33箇所）、工場・事業所排水（17箇所）、ゴルフ場農薬（5事業所12箇所）、土壌（9箇所）の調査、臭気調査、自動車騒音調査を行う。	【平成30年度 事業内容】 河川水質（10河川16箇所）、地下水（33箇所）、工場・事業所排水（17箇所）、ゴルフ場農薬（5事業所12箇所）、土壌（9箇所）の調査、臭気調査、自動車騒音調査を行う。
【令和元年度 事業内容】 河川水質（10河川16箇所）、地下水（33箇所）、工場・事業所排水（17箇所）、ゴルフ場農薬（5事業所12箇所）、土壌（9箇所）の調査、臭気調査、自動車騒音調査、観測井戸水位計の更新	

■事業費

		H29年度	H30年度	R01年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	3,471	3,324	5,737
	歳入計（千円）	3,471	3,324	5,737
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	25	17	28
	13 委託料	3,306	3,116	4,458
	14 使用料及び賃借料	13	13	13
	18 備品購入費	127	178	1,238
歳出計（千円）（A）	3,471	3,324	5,737	
（参考）	当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 72.59 予 22.40	
職員人工数	0.42	0.42	0.42	
職員人件費（B）	3,236	3,158	3,320	
総事業費（A）＋（B）	6,707	6,482	9,057	

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動 指標	ゴルフ場水質検査箇所数	箇所	目標	12.00	12.00	12.00
	市内で調査を行っているゴルフ場の箇所数		実績	12.00	12.00	0.00
	残土現場水質調査	回	目標	2.00	2.00	2.00
	残土現場及び周辺河川等の年間水質検査回数		実績	2.00	2.00	0.00
成果 指標	ゴルフ場排水基準の達成率	%	目標	100.00	100.00	100.00
	ゴルフ場からの排水が基準値内である割合		実績	100.00	100.00	0.00
	残土現場水質調査	箇所	目標	8.00	8.00	8.00
	残土現場及び周辺河川等の水質検査箇所数		実績	8.00	8.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公害や苦情のない住みやすい環境の構築に必要な事業である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共性の高い事業であり、行政の関与が必要である
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 生活環境保全のため、必要最少限度の継続的な調査及び検査が必要である
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市民の安心な生活の保障に影響を及ぼす
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 各調査個所の見直しは継続性が損なわれる可能性があるため慎重に行う必要がある
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内全域対象であり、公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 廣原正則
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 河川湖沼など公共水域及び地下水汚染を防止するため水質の常時監視を継続実施。工場の定期立入調査は計画どおりに実施すること。また、調査結果に基づき適切な指導を実施する。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 山内美則
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 河川湖沼などの公共水域及び地下水の汚染を防止するため、水質や土壌の監視を継続して実施する		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度							
事務事業名	不法投棄対策事業（政策）						事業類型	管理・運営
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例
			04	01	06	07	政策経費	
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象
	(1) 自然環境の保全と活用						市民協働	行政主体
	1 環境保全・公害						担当課係等	生活環境課
	④公害の防止							衛生担当
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 市民が不法投棄のない清潔で快適な生活環境の中で暮らせることを目的とする。	【関連事業】 不法投棄対策事業
【期待される効果】 かすみがうら市を不法投棄の無い住みやすい街にする。	【対象者】 市内全体
【全体概要】 環境保全監視員による監視及び不法投棄防止看板の設置や監視カメラによる監視を行い、不法投棄を未然に防ぐ。また不法投棄されてしまったごみが早期発見され処分することによって二次災害を防ぐことができる。	【特記事項】 平成28年度より設置した環境保全監視員により監視体制の強化を図る。
【平成29年度 事業内容】 不法投棄防止看板設置及び、不法投棄監視重点地区において、移動式監視カメラを増設し監視を強化する。	【平成30年度 事業内容】 不法投棄防止看板設置及び、不法投棄監視重点地区において、移動式監視カメラを増設し監視を強化する。
【令和元年度 事業内容】	

■ 事業費

		H29年度	H30年度	R01年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	152	243	0
歳入計（千円）		152	243	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	18 備品購入費	152	243	0
歳出計（千円）（A）		152	243	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		0.35	0.35	0.00
職員人件費（B）		2,696	2,631	0
総事業費（A）＋（B）		2,848	2,874	0

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	不法投棄パトロール	回	目標	250.00	180.00	0.00
	環境保全監視員、環境保全課職員及び不法投棄監視員によるパトロールの実施		実績	178.00	181.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	不法投棄処理件数	件	目標	20.00	20.00	0.00
	不法投棄物を処理及び処分した件数(苦情件数)		実績	24.00	38.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 不法投棄をなくし快適な住環境を目指すうえで必要な事業である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共性の高い事業であり、行政の関与が必要
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 不法投棄重点地域の監視地域の拡大を行う
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 不法投棄の抑止力が失われる 清潔で快適な生活環境が失われる
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 防犯パトロールなど含め市全体を監視するシステムの構築
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 市民の監視意識の向上に事業費削減の余地がある
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内全域対象であり公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：廣原正則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 不法投棄監視員は実績もあり効果が期待できることから引き続き行うと同時に、職員との連携及び移動式監視カメラの整備などを強化し監視体制の充実を図る。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：山内美則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 近隣自治体、県及び警察等の関係機関との連携が重要であり、情報交換など積極的に実施すること 今後も継続的に環境保全監視員との連携や早朝パトロールなど監視体制を強化し不法投棄の防止強化を図る		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度								
事務事業名	一般廃棄物処理事業（政策）						事業類型	業務委託	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
			04	01	06	09	政策経費		
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 資源循環型社会の形成						市民協働	行政主体	
	1 廃棄物処理						担当課係等	生活環境課	
①広域ごみ処理施設建設の推進						衛生担当			
事業期間	継続（年度～）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 各種ごみ収集運搬を実施することで、市民の快適な生活環境を実現する。	【関連事業】 一般廃棄物処理事業、リサイクル推進事業（政策）
【期待される効果】 ごみ収集運搬を適正に行うことで、市民の快適な生活環境を保全する。	【対象者】 市民全体
【全体概要】 一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーの日程に従って収集する。委託により可燃ごみ、不燃ごみ、カン、ビン、ペットボトル、資源ごみ、粗大ごみのステーション方式による収集を行っている。	【特記事項】 令和2年度末に新ごみ処理施設完成となり、令和3年度から運用を開始する。一方、令和元年度末をもって新治広域から土浦市が脱退する予定。
【平成29年度 事業内容】 霞台厚生施設組合建設計画課による新たな広域化ごみ処理施設建設を推進する。一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーに従って収集する。	【平成30年度 事業内容】 霞台厚生施設組合建設計画課による新たな広域化ごみ処理施設建設を推進する。一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーに従って収集する。
【令和元年度 事業内容】 霞台厚生施設組合建設計画課による新たな広域化ごみ処理施設建設を推進する。一般家庭からごみ集積所に排出された一般廃棄物（ごみ）の収集を業者に委託し、市のごみ収集カレンダーに従って収集する。 一般廃棄物処理基本計画の見直し	

■ 事業費

		H29年度	H30年度	R01年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	421,145	499,606	1,421,149
歳入計（千円）		421,145	499,606	1,421,149
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	11 需用費	442	350	149
	13 委託料	110,633	110,309	132,887
	19 負担金、補助及び交付金	310,070	388,947	1,288,113
歳出計（千円）（A）		421,145	499,606	1,421,149
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 184.4 予 129.8
職員人工数		0.95	1.00	1.00
職員人件費（B）		7,318	7,517	7,903
総事業費（A）＋（B）		428,463	507,123	1,429,052

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	年間のごみ収集日数	日	目標	309.00	304.00	307.00
	委託業者による収集日数		実績	304.00	304.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	ごみ収集量	トン	目標	14,000.00	14,000.00	14,000.00
	1年間のごみ収集量		実績	14,539.48	14,888.94	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 家庭系一般廃棄物収集に関する事業であり、集積所からステーション方式による収集業務委託を実施しており、市民の快適な生活環境の実現のため必要不可欠な事業である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共性の高い事業であり、行政に義務付けられている
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 ごみ収集運搬業務の検証及び見直しにより、きめ細かい丁寧な収集を指導する
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 清潔で快適な市民生活が損なわれる
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 ごみ減量化を促すことで収集業務委託経費の削減は期待できる委託業務であることから人件費は最少経費である
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内全地域を対象としているため公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：廣原正則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） ごみ減量対策については重要な課題であることから継続すると同時に検証することが必要、また3R推進など啓発活動を積極的に展開する。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：山内美則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） ごみの減量化対策を進めるため、一般廃棄物処理基本計画の見直しを行うとともに、分別の徹底とリサイクルの推進を図る		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度								
事務事業名	リサイクル推進事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費	根拠法令	生ごみ処理容器等設置事業補助金設置要項 、資源物回収事業補助金交付要綱
			04	01	06	11			
総合計画体系	1. 自然の恵みを享受できるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 資源循環型社会の形成						市民協働	市民の関与	
	1 廃棄物処理						担当課係等	生活環境課	
③リサイクルの推進						衛生担当			
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 市民が積極的にごみの分別、資源化及びごみの減量化に取組み資源循環型社会を目指す。	【関連事業】 一般廃棄物処理事業（政策）
【期待される効果】 市民のごみ分別意識の向上、リサイクル率の向上、ごみの減量化、地球温暖化の抑止等	【対象者】 市内各世帯及び子ども会等 団体
【全体概要】 団体登録を募集し、有価物団体登録をした子ども会等での資源物集団回収に対して補助金を交付する。生ごみ処理機等を設置した世帯に対しても補助金を交付する。	【特記事項】 平成28年度より生ごみ処理容器等設置事業の補助金額を購入価格の2分の1から4分の3に改め、さらなるごみの減量化を推進する。また平成28年度より小型家電リサイクル回収ボックスを霞ヶ浦庁舎担当窓口へ設置し、リサイクルの推進を図る。
【平成29年度 事業内容】 ごみ減量推進啓発活動及び子ども会等の資源物集団回収の奨励、生ごみ処理機等を設置した世帯に対して補助金交付。	【平成30年度 事業内容】 子ども会等の資源物集団回収に対して補助金交付。生ごみ処理機等を設置した世帯に対して補助金交付。
【令和元年度 事業内容】 子ども会等の資源物集団回収に対して補助金交付。生ごみ処理機等を設置した世帯に対して補助金交付。	

■ 事業費

		H29年度	H30年度	R01年度
財源	国庫支出金	58	7	67
	県支出金	0	0	0
	自主財源	1,022	966	1,528
歳入計（千円）		1,080	973	1,595
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	95	0	100
	11 需用費	100	135	395
	14 使用料及び賃借料	0	9	0
	19 負担金、補助及び交付金	885	829	1,100
歳出計（千円）（A）		1,080	973	1,595
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 63.92 予 19.02
職員人工数		1.00	1.00	1.00
職員人件費（B）		7,703	7,517	7,903
総事業費（A）＋（B）		8,783	8,490	9,498

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動 指標	補助金交付団体数	団体	目標	45.00	42.00	45.00
	子ども会等の団体数		実績	41.00	41.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	回収した資源物	トン	目標	200.00	150.00	200.00
			実績	141.61	151.29	0.00
	生ごみ処理容器等の補助件数	件	目標	30.00	30.00	30.00
	電気式、コンポスト、EM菌利用生ごみ処理容器を設置した件数		実績	27.00	16.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 資源循環型社会の形成の推進は自然の恵みを享受できるまちづくりの施策のひとつ
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 リサイクルは、廃棄物減量化と資源有効利用を目的とし、市民の意識向上を図ることで資源循環型社会の形成に資する
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 少子化や学校の統合により規模が縮小傾向である 資源化率の向上のため新たな取り組み等事業の見直しが必要
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 循環型社会形成の推進に影響があり、ごみの減量意識の低下を招く
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 循環型社会形成の推進に必要な補助事業であり、事業費の削減は市民の意識低下を招く
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助対象を市内各世帯及び子ども会等団体としており、公平性は保たれている

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 廣原正則
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 事業活動をとおり、ごみのリサイクルや減量化の意識向上をこれまで以上推進をしていく		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 山内美則
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） ごみの分別やリサイクルに対する意識の向上を図るため、事業を推進する		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度							
事務事業名	環境保全推進事業（政策）						事業類型	補助事業
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	自立・分散型エネルギー設備導入補助金交付要綱
			04	01	06	13	政策経費	
総合計画体系	1. 自然の恵みを享受できるまちづくり						総合計画対象	対象
	(3) 資源循環型社会の形成						市民協働	行政の関与
	2 再生可能エネルギー						担当課係等	生活環境課
①分散型エネルギーの活用								環境対策担当
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 限りある化石燃料に変わる再生可能エネルギーを推進することで地球温暖化対策に寄与する。	【関連事業】	
【期待される効果】 地球温暖化抑止及び温室効果ガスの削減並びに災害に備えたまちづくり	【対象者】 市民全体	
【全体概要】 県で推進する事業を活用し、水素の利活用の促進とエネルギー利用の効率化を図るため、機器導入した住民に対し補助金を交付するもの。	【特記事項】 現在において、高額となっているエネファーム等の導入費用に対し、将来的に一般に普及し価格が下がり安定した時点で事業の見直しを行う。	
【平成29年度 事業内容】	【平成30年度 事業内容】	【令和元年度 事業内容】
自立・分散型エネルギー設備導入促進補助金	自立・分散型エネルギー設備導入促進補助金	自立・分散型エネルギー設備導入促進補助金

■ 事業費

		H29年度	H30年度	R01年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	300	400	500
	自主財源	300	400	500
歳入計（千円）		600	800	1,000
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	600	800	1,000
歳出計（千円）（A）		600	800	1,000
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 25.00 予 25.00
職員人工数		0.20	0.06	0.06
職員人件費（B）		1,541	451	475
総事業費（A）＋（B）		2,141	1,251	1,475

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	広報回数	回	目標	1.00	1.00	1.00
	広報誌やホームページによる啓発		実績	0.00	1.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	補助金交付件数	件	目標	4.00	8.00	10.00
	家庭用燃料電池システム及び定置用リチウムイオン蓄電池システムの設置件数		実績	6.00	8.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 資源循環型社会の形成に向けた再生可能エネルギーの活用
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 限られた資源の有効活用と災害に備えた自立分散型エネルギー供給システムの導入を促すことでイノベーションが図られ普及促進が進む
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 現在1基当たりのコストが高く一般世帯には難しい
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 自然環境の保全と活用に取り組むなか、市民の意識低下を招く
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 一基あたりの導入コストが高く、事業費の削減は意欲低下を招く
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市内全域対象であり公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	国及び県の動向に注視し取り組む
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 廣原正則
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 国県の動向に併せ経済状況に合わせて事業内容を充実させるよう努めること		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 山内美則
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 国・県の事業に併せ、再生可能エネルギーに対する助成を推進する		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度							
事務事業名	霞ヶ浦関係保全事業（政策）						事業類型	補助事業
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 茨城県霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例
			04	01	06	15	政策経費	
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象
	(1) 自然環境の保全と活用						市民協働	共催
	1 環境保全・公害						担当課係等	生活環境課
③霞ヶ浦の水質浄化・環境整備促進						環境対策担当		
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 霞ヶ浦の水質の現状を認識し、水質浄化の推進を図る。	【関連事業】 霞ヶ浦関係保全事業
【期待される効果】 霞ヶ浦の水質浄化、環境整備促進。	【対象者】 かすみがうら市家庭排水浄化推進協議会
【全体概要】 霞ヶ浦及び霞ヶ浦流入河川の水質浄化を図るため家庭排水の浄化の推進や広報啓発活動等を実施し、住民福祉の向上を図る。	【特記事項】 特になし。
【平成29年度 事業内容】 家庭排水浄化推進協議会補助金の交付	【平成30年度 事業内容】 家庭排水浄化推進協議会補助金の交付
【令和元年度 事業内容】 家庭排水浄化推進協議会補助金の交付	

■ 事業費

		H29年度	H30年度	R01年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	80	80	200
歳入計（千円）		80	80	200
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）		金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	80	80	200
歳出計（千円）（A）		80	80	200
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 150.0 予 150.0
職員人工数		0.40	0.40	0.40
職員人件費（B）		3,082	3,007	3,162
総事業費（A）＋（B）		3,162	3,087	3,362

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	啓発活動数	回	目標	2.00	2.00	2.00
	水質浄化啓発活動回数		実績	2.00	3.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	活動枚数	%	目標	100.00	100.00	100.00
	啓発活動で用意した啓発用品を配布できた割合		実績	100.00	100.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 霞ヶ浦及び霞ヶ浦流入河川の環境保全是、快適な住環境づくりに必要な事業である
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 家庭排水浄化推進協議会の活動は霞ヶ浦の水質浄化を図るための家庭排水の適正な処理を推進することを目的としており、市の掲げる基本理念と一致する
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 家庭排水浄化推進協議会委員と連携をとりながら、霞ヶ浦及び流入河川の浄化対策をより多くの市民に周知し理解を深める
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 意識啓発がなくなることで、霞ヶ浦及び流入河川の環境保全の推進に大きな影響がある
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 下水道事業との連携
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 市が抱える環境保全の課題に対し家庭排水浄化推進協議会と連携し取り組んでいる水質の監視及び市民への意識啓発の発信と継続性が重要である
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 霞ヶ浦及び流入河川の環境保全に関する事業であり、市全体の水質浄化活動に取り組んでいることから公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	現行のとおり続行
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 廣原正則
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 霞ヶ浦の水質浄化について、各種団体の事業や活動をとおして、積極的に啓発活動に取り組む		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 山内美則
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 水質浄化等環境保全活動は、市民の理解及び協力が不可欠であり、今後も市民協働の観点を重視し取り組むこと		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度							
事務事業名	世界湖沼会議サテライト事業（政策）						事業類型	補助事業
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	第17回世界湖沼会議かすみがうらサテライト事業補助金交付要綱
			04	01	06	22	政策経費	
総合計画体系	1. 自然の恵みを享受できるまちづくり						総合計画対象	対象
	(1) 自然環境の保全と活用						市民協働	行政の関与
	1 環境保全・公害						担当課係等	生活環境課
③霞ヶ浦の水質浄化・環境整備促進								環境対策担当
事業期間	単年度のみ							

現状把握の部 (D0)

【目的】 第17回世界湖沼会議に合わせ、サテライト事業を行うことで、湖沼に対する関心を高めること。	【関連事業】 霞ヶ浦関係保全事業 霞ヶ浦関係保全事業（政策）	
【期待される効果】 様々な人、関係期間の連携が一層強化され、湖沼問題解決の新たな進展に繋がる。	【対象者】 世界湖沼会議かすみがうらサテライト実行委員会	
【全体概要】 「帆引き船フェスタwith世界湖沼会議」や「帆引き船講演会&帆引き船シンポジウム」を開催する。実行委員会への事業費を助成する。	【特記事項】	
【平成29年度 事業内容】	【平成30年度 事業内容】	【令和元年度 事業内容】
	第17回世界湖沼会議かすみがうらサテライト事業補助金 世界湖沼会議登録負担金	

■事業費

		H29年度	H30年度	R01年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	0	5,185	0
歳入計（千円）		0	5,185	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	0	5,185	0
歳出計（千円）（A）		0	5,185	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		0.00	0.30	0.00
職員人件費（B）		0	2,256	0
総事業費（A）＋（B）		0	7,441	0

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	環境関連行事の開催 「帆引き船フェスタwith世界湖沼会議」「帆引き船講演会&帆引き船シンポジウム」を開催する。	回	目標	0.00	2.00	0.00
			実績	0.00	2.00	0.00
		目標	0.00	0.00	0.00	
		実績	0.00	0.00	0.00	
成果指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
		目標	0.00	0.00	0.00	
		実績	0.00	0.00	0.00	

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 湖沼普及及び霞ヶ浦流入河川の環境保全は、快適な住環境づくりに関連する
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 湖沼問題の解決は広域的な対応が必要であり、霞ヶ浦の水質浄化等と同様、市の掲げる基本理念と一致する
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 世界湖沼会議に合わせて実施した単年度の事業であるためであるが、市としては引き続き、霞ヶ浦関係保全事業、霞ヶ浦関係保全事業（政策）において対応を図っていく
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input type="checkbox"/> 影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 世界湖沼会議に合わせて実施した単年度の事業であるためであるが、市としては引き続き、霞ヶ浦関係保全事業、霞ヶ浦関係保全事業（政策）において対応を図っていく
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 引き続き、霞ヶ浦関係保全事業、霞ヶ浦関係保全事業（政策）において対応を図っていく
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 引き続き、霞ヶ浦関係保全事業、霞ヶ浦関係保全事業（政策）において対応を図っていく
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 霞ヶ浦及び流入河川の環境保全に関わる事業であり、市全体の水質浄化活動という意義において公平公正である

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	引き続き、霞ヶ浦関係保全事業、霞ヶ浦関係保全事業（政策）において対応を図っていく
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：廣原正則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 世界湖沼会議に合わせて実施した単年度の事業であるため廃止であるが、市としては引き続き、霞ヶ浦関係保全事業、霞ヶ浦関係保全事業（政策）において対応を図っていく		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：山内美則 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 世界湖沼会議に合わせて実施した単年度の事業であるため廃止であるが、市としては引き続き、霞ヶ浦関係保全事業、霞ヶ浦関係保全事業（政策）において対応を図っていく		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度							
事務事業名	神立駅周辺整備事業（政策）						事業類型	負担金
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	都市計画法
			08	04	01	09	政策経費	
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象
	(1) 適正な土地利用の推進						市民協働	行政主体
	1 土地利用						担当課係等	都市整備課
① 中心市街地の整備						公園街路担当		
事業期間	期間限定複数年度（平成23年度～令和 3年度）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 駅前広場整備と県道の拡幅等（新名称：神立駅前西通り線）により、渋滞緩和、歩行者の安全確保、商業環境の向上や利便性を図り、合せて駅舎の橋上化を図ることで都市機能の充実を図る。	【関連事業】 街路整備事業（都市計画道路 神立停車場線）	
【期待される効果】 駅前広場を含む交通節点機能を向上させることにより、交通渋滞緩和及び歩行者空間を確保することによる通勤・通学者の環境機能向上並びに商業環境の発展を図り、土地の有効活用と都市機能の充実を図る。	【対象者】 全市民	
【全体概要】 本事業は、神立駅周辺整備を目的に土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合を平成22年度に設置した。主な内容は、土地区画整理事業のかすみがうら市分の負担金である。	【特記事項】 全体面積2.2ha（当市0.9ha 土浦市1.3ha） 事業認可期間（平成23年度～平成33年度） 事業認可変更 H29.2（認可期間の変更） 東西自由通路全面供用開始（H31.3） 橋上駅舎全面供用開始（H31.3） 西口自転車駐車場の整備（R1 土浦市・かすみがうら市）	
【平成29年度 事業内容】 移転補償、造成工事、仮駅舎建築、神立駅自由通路・駅舎橋上化整備	【平成30年度 事業内容】 移転補償、宅地造成工事、埋設物移転、神立駅自由通路・駅舎橋上化整備 等	【令和元年度 事業内容】 移転補償、都市計画道路・区画道路整備工事、駅前広場整備工事、宅地造成工事 等

■ 事業費

		H29年度	H30年度	R01年度	
財源	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	自主財源	265,209	426,760	207,980	
歳入計（千円）		265,209	426,760	207,980	
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）		金額（千円）	
	12 役員費	10	0	0	
	17 公有財産購入費	12,521	0	0	
	19 負担金、補助及び交付金	252,678	426,760	207,980	
内訳	歳出計（千円）（A）	265,209	426,760	207,980	
	（参考）	当初予算額	当初予算額	288,691	伸び率(%) 決 -51.2 予 -27.9
	職員人工数	0.25	0.15	0.25	
	職員人件費（B）	1,926	1,128	1,976	
	総事業費（A）＋（B）	267,135	427,888	209,956	

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	活動指標 1	回	目標	20.00	20.00	20.00
	関係機関との協議回数		実績	22.00	21.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	成果指標 1	%	目標	100.00	100.00	100.00
	計画の進捗状況（年度毎） ※負担金に対する執行率（事業費／負担金）		実績	46.45	100.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画及び都市計画マスタープランに基づき事業を推進している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 当市の玄関口として、重要な神立駅周辺の活性化や都市機能充実を図っている。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 神立駅の将来像に対し、利用者の立場になり多方面から検討し、より使いやすい駅になるよう、関係機関と連携し事業推進を図る。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 事業の廃止・休止等を行うことにより、事業目的である渋滞緩和や歩行者の安全確保等の都市機能の充実が図れない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 神立駅周辺という立地や公共施行による区画整理事業、また、土浦市と当市で一部事務組合を設立し事業を推進しているため。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 （仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 神立駅周辺の都市機能充実を図るために必要な事業のため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 神立駅舎を含め周辺の渋滞緩和や歩行者の安全確保の整備を行っている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	継続して、土浦市や関係機関と連絡調整を図り、より良い神立駅周辺の整備を図る。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：都市整備課長 大久保昌明
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 常に事業計画内容（スケジュール）の管理を行い状況を把握し事業推進を図りたい。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：都市産業部長 鈴木芳明
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 事業認可期間を見据え、事業の早期推進を図りたい。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成30年度								
事務事業名	浄化槽設置整備事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	かすみがうら市浄化槽等設置事業費補助金 交付要項
			04	01	01	11	政策経費		
総合計画体系	1. 自然の恵みを楽しむことができるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(2) 快適な住環境の整備						市民協働	行政主体	
	2 下水道						担当課係等	下水道課	
①下水道の整備								業務係	
事業期間	期間限定複数年度（平成30年度～令和4年度）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 水質保全及び生活環境の向上を図るため、家庭雑排水の適正処理と周辺の水質浄化を行う。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 合併浄化槽の普及により、生活環境の保全と公衆衛生が向上する。	【対象者】 公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業計画区域以外の住民(7年以内の整備予定がない地域を含む)	
【全体概要】 公共下水道事業認可区域及び農業集落排水事業計画区域以外の地域に対し、浄化槽の設置等に係る助成を行う。	【特記事項】 下水道事業の全体計画が大幅に見直された場合（縮減）、汚水処理が合併処理浄化槽へ転換することから大幅な需要の増加が見込まれる。 令和元年4月より企業会計移行に伴い、市民部生活環境課が所管となる。	
【平成29年度 事業内容】 転換5人槽7基 7人槽17基 10人槽5基 転換外5人槽20基 7人槽3基 10人槽2基 合計54基 撤去20基	【平成30年度 事業内容】 転換5人槽5基 7人槽14基 10人槽3基 転換外5人槽15基 7人槽4基 10人槽0基 合計41基 撤去12基	【令和元年度 事業内容】 転換5人槽12基 7人槽25基 10人槽3基 転換外5人槽10基 7人槽9基 10人槽1基 合計60基 撤去32基

■ 事業費

		H29年度	H30年度	R01年度
財源	国庫支出金	11,960	15,738	10,972
	県支出金	21,276	14,317	21,823
	自主財源	6,268	-390	11,915
歳入計（千円）		39,504	29,665	44,710
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	39,504	29,665	44,710
歳出計（千円）（A）		39,504	29,665	44,710
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 50.71 予
職員人工数		0.60	0.60	0.60
職員人件費（B）		4,622	4,511	4,742
総事業費（A）＋（B）		44,126	34,176	49,452

■指標

種類	指標名	単位		H29年度	H30年度	R01年度
活動指標	補助設置基数	基	目標	60.00	60.00	60.00
			実績	54.00	41.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	汚水処理人口普及率 行政人に占める合併浄化槽による汚水処理人口の比率	%	目標	10.50	10.80	11.10
			実績	11.80	12.20	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画での高度処理型合併処理浄化槽の設置推進に結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 合併浄化槽設置地域は下水道の未普及地であり妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 未処理汚水による水質汚染を幅広く知ってもらうことでくみ取りトイレや単独処理浄化槽からの切替の推進を図る。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 補助を廃止した場合、くみ取り、単独処理浄化槽からの転換が減少すると思われる。また、公衆衛生生帯が減少するため水質汚染につながる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 下水道整備区域に対し税金を投入していることから妥当である。公共下水道事業及び農業集落排水事業の区域外に対して浄化槽の設置を推進し、公衆衛生を図る。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 浄化槽補助金交付には、現在、受付・検査等を委託しており補助金交付についての起案と補助金交付を現在職員が行っている。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 補助金額には、国、県補助も含まれ、全国的に補助を行っていること、下水道整備区域への公費負担を考えると、公平であると考えられる。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	事業目的である、環境保全としての水質浄化を推進するためくみ取りや単独処理浄化槽からの転換を推進していく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 廣原正則
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 高度処理浄化槽への転換の促進及び補助金の予算確保に努める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者： 山内美則
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 浄化槽関連補助事業の長期的政策の検討を要する。		